

2026 年 1 月薬事審議会結果

新規採用薬は薬事審議会委員会開催の翌月 1 日（休日の場合は休み明け）より、処方可能となります。切替え、削除薬は、院内在庫がなくなり次第随時となります。

1. 新規採用医薬品

採用区分	医薬品名/薬効	備考
用時購入	ドブテレット錠 20mg / トロンボポエチン受容体作動薬	
院外採用	ナルティーク OD 錠 75mg/ 経口 CGRP 受容体拮抗薬	
院外採用	クービビック錠 25mg / オレキシン受容体拮抗薬 ー不眠症治療薬ー	
院外採用	クービビック錠 50mg / オレキシン受容体拮抗薬 ー不眠症治療薬ー	
特定患者 院外採用	スピジア点鼻液 5mg / 抗けいれん剤	
特定患者 院外採用	スピジア点鼻液 7.5mg / 抗けいれん剤	
特定患者 院外採用	スピジア点鼻液 10mg / 抗けいれん剤	

2. 後発品変更医薬品

【新規採用】 後発医薬品名	【切替え】 先発医薬品名
なし	

3. 採用区分変更医薬品

医薬品名	採用区分（変更前→変更後）
アテレック錠 5	採用→院外採用
エリル点滴静注液 30mg	採用中止→採用

4. 規格追加・規格変更・名称変更採用医薬品

規格追加・変更・名称変更医薬品名	備考
アウイクリ注 フレックスタッチ総量 700 単位	規格追加・院外採用
ノバントロン注 20mg	規格追加・用時購入
ヒフデュラ配合皮下注シリンジ	ヒフデュラ配合皮下注から剤型変更
ゼオマイン注用 100 単位	ゼオマイン筋注用 100 単位から名称変更
ゼオマイン注用 200 単位	ゼオマイン筋注用 200 単位から名称変更

カルボプラチン注射液 50mgNK」	カルボプラチン点滴静注液 50mg「NK」から名称変更
カルボプラチン注射液 150mg「NK」	カルボプラチン点滴静注液 150mg「NK」から名称変更
カルボプラチン注射液 450mg「NK」	カルボプラチン点滴静注液 450mg「NK」から名称変更
グロベニン-I 10%静注 5g/50mL	献血グロベニン-I 静注用 5000mg から名称変更
ネオフィリン注 250mg	ネオフィリン注 PL250mg から名称変更
ポビシュガーパスタ軟膏	イソジンシュガーパスタ軟膏から製薬メーカー変更
ゲムシタビン点滴静注用 200mg「タカタ」	「ヤクルト」から製薬メーカー変更
ゲムシタビン点滴静注用 1g「タカタ」	「ヤクルト」から製薬メーカー変更

5. 採用中止医薬品

医薬品名	中止前採用区分	備考
ヒフデュラ配合皮下注	特定患者	皮下注シリンジへ剤形変更
ゼオマイン筋注用 100 単位	採用	ゼオマイン注用 100 単位へ名称変更
ゼオマイン筋注用 200 単位	用時購入	ゼオマイン注用 200 単位へ名称変更
カルボプラチン点滴静注液 50mg「NK」	用時購入	注射液に名称変更
カルボプラチン点滴静注液 150mg「NK」	用時購入	注射液に名称変更
カルボプラチン点滴静注液 450mg「NK」	用時購入	注射液に名称変更
献血グロベニン-I 静注用 5000mg	用時購入	グロベニン-I 10% 静注 5g/50mL へ名称変更
ネオフィリン注 PL250mg	採用	ネオフィリン注 250mg へ名称変更
イソジンシュガーパスタ軟膏	採用	ポビシュガーパスタ軟膏へ名称変更
ゲムシタビン点滴静注用 200mg「ヤクルト」	採用	「タカタ」へ変更
ゲムシタビン点滴静注用 1g「ヤクルト」	採用	「タカタ」へ変更
ファスジル塩酸塩点滴静注液 30mg「KCC」	採用	販売中止、エリル点滴静注液 30mg で代替
アシクロビル点滴静注液 250mg「日医工」	臨時採用	「トーワ」の出荷量が通常に戻ったため
ガーダシル水性懸濁筋注シリンジ	用時採用	販売中止、2024 年度以降処方なし
ゼスタッククリーム	採用	販売中止、フェルビナクスチ

		ック軟膏 3%「三笠」で代替
亜鉛華デンプン「コザカイ・M」	用時採用	販売中止、2024 年度以降処方なし、亜鉛華(10%)単軟膏「ニッコー」で代替

6. 臨時採用

医薬品名	備考（分類）
グリセリン「ニッコー」	「東豊」が出荷調整のため

7. 院内製剤

院内製剤名	採用/削除	備考（分類）
なし		

8. その他

フォーミュラリ小委員会より

- ・新規フォーミュラリ：高カリウム血症治療薬

推奨薬：カリメート経口液 20%、オイスチレンスルホン酸 Ca 経口ゼリー20%分包 25g「三和」
オプション：ロケルマ懸濁用散分包

- ・作成したフォーミュラリの見直し：硬便時便秘症のフォーミュラリ

グーフィス錠 5mg の記載を追加

推奨薬：

酸化マグネシウム、適宜刺激性下剤（センノシド錠 12mg、ピコスルファートナトリウム内用液）の頓用を追加

効果不十分な場合：酸化マグネシウムの増量

増量しても効果不十分な場合：リンゼス錠 0.25mg、アミティーザカプセル 24 μ g に加えて、グーフィス錠 5mg の使用も考慮

9. 次回薬事審議会は、2026 年 3 月 18 日（水）、場所は研修棟 3F 講義室の予定です。